

日本語教育小委員会（第69回）で出された主な意見等

論点7について	
内容	
全体について	
（特になし）	
1. はじめに	
（特になし）	
2. 外国人を取り巻く状況について	
（特になし）	
3. 1 地域における日本語教育の全体的な状況	
・ 日本語学習が必要な外国人について、もう少し丁寧に計算あるいは説明した方が良いのではないか。	
3. 2 地方公共団体における日本語教育の状況	
（特になし）	
3. 3 国における日本語教育施策の状況	
（特になし）	
4. 1 地方公共団体における実施体制	
（特になし）	
4. 2 国における地域日本語教育に関する施策	
・ 前回の「日本語教室が開設されていない市区町村において日本語教育への取組を促すような制度に拡充すべきである」から表現が弱くなっているように思うが、元の表現に戻すべきではないか。	
4. 3 日本語教育の実施体制のポイント	
・ ポイントや各事例が、調査の結果だと分かるように説明を入れた方が良い。	
・ 全体としてどういったことがポイントとして挙がっているのか、最初にまとめて記載した方が良い。	
・ 見出しにキャッチーな表現を使っているが、もう少し具体的な中身が分かるようにした方が良い。また、全体としての統一感を持たせた方が良い。	
・ 事例について、だれが何をするのかということが分かるように記載すること。特に背景知識を持たない人でも分かるようにすること。	
・ ポイントが埋没してしまわないように、具体的な事例は後ろにまとめて掲載する方法もあるのではないかな。また、可能であれば、ポイントごとの総括を記載した方が良い。	
・ 事例に関わっている組織の属性などが分かりにくいので、工夫が必要ではないか。	
・ ポイントが六つあるが、その並びや全体構成が読み手に伝わるような工夫が必要ではないか。図などがあると良い。また、場合によっては、ポイントは六つに限定されないのではないかな。	
・ ポイントごとに改ページをした方が良い。	
・ 「[ポイント3] 地域社会との接点を生み出す」について、日本人をターゲットとしている、日本人の関心を高めるものであることを、もう少し際立たせた方が良い。	
・ 「[ポイント4] 学習者の多様なニーズに対応する」の中には多様なものが入っているので、何をしているのかということを書き具体的に書く方が良いのではないかな。	
・ ポイント6の③のネットワークについて、何のネットワークか分かりにくいので、整理して記載することが必要ではないか。	
論点8について	
内容	
1. はじめに	
・ 今期の小委員会で検討した内容について、具体的に何のことを指しているのか分かりにくい部分があるので表現を工夫することが必要ではないか。	

2. 1 日本語教育に関する調査（自治体等が実施）に関する共通利用項目の作成の観点
（特になし）
2. 2 活用方法、活用の効果
- 調査項目に各地方公共団体が「加筆・修正を」とあるが、そうすることを本当に期待しているのか。 - 日本語教育に関する調査の共通利用項目以外についても、オープンデータ化を進めるということか。 2. 2は重要な部分なので、もう少ししっかりと書いた方が良いのではないかな。
3. 1 学習者の属性等に関する項目について
- 選択肢に「その他」を入れた方が良いのではないかな。 - どのような環境であれば日本語を学ぶことができるかということを聞いた方が良いのではないかな。学習者の視点が分かるような質問が必要ではないかな。 - 日本語の利用状況に関する問いを入れた方が良い。どこでどう使うかという質問を入れるべき。 - 問6の「⑦考えていない」は「まだ決めていない」という意味ではないかな。翻訳もしやすいような形でシンプルな表現で記載するのが良い。
3. 2 日本語学習に関する項目
- 選択肢に「その他」を入れた方が良いのではないかな。 「学んでいますか」という表現が引っ掛かる。「学んでいる」ということが分かるようにした方が良い。 - 問4について「そうではないですか」はいらないのではないかな。また、選択肢の中で、理由と行動がセットになっている。一つの選択肢の中で、二つのことを考えなくていいようにした方が良い。 - 一番最初に「日本語を学んだことがあるか」という設問を入れた方が良い。 - 問1と問3を続きで質問した方が良い。何をもって「日本語学習をしているか」ということでイメージがしやすくなる。 - 問4と問5を一つにできるのではないかな。また、「情報がない」ということも選択肢に入れた方が良い。 - 日本語を学ばない理由には「難しい」とか「学習を続けるのは大変」といった動機付けに関するようなこともあるのではないかな。
3. 3 日本語能力に関する項目
- 選択肢に「その他」を入れた方が良いのではないかな。 - 案1～案3をパターンのような形で示す方法もあるのではないかな。 - 日本語教育に関する調査の共通利用項目のそもそもの趣旨を考えると、これまでに自治体等が行った調査から質問項目を引っ張ってることが大事ではないかな。本格的な調査については、別に予算を取って実施しないといけないのではないかな。 - 案3について、5問ぐらいに絞った方が良いだろう。詳しく知りたいのであれば、別途、カリキュラム案を軸にした調査を考えるべきではないかな。
4. 日本語教育に関する調査の情報共有、分析について
「蓄積した調査結果をいかに施策につなげていくか」という記載があるが、むしろ逆ではないかな。施策をするために調査をするのではないかな。それとは別に事業に対して評価をする調査研究も必要ではないかな。